令和６年度

第３回　木更津市文化財保護審議会

審議期間　令和７年３月１０日（月）～
３月２０日（木）
審議方法　書面審議

報告事項

第１号　令和６年度木更津市文化財保護行政について

第２号　宗教法人光明寺 武志伊八郎信由関連作品の千葉県登録文化財登録について

報告 第1号 令和6年度木更津市文化財保護行政について

１　文化財補助事業について（教育振興事業補助金）

社会教育の振興を図るため、予算の範囲内において木更津市補助金等交付規則及び木更津市教育振興事業補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。

・千葉県指定文化財須賀神社本殿保存会が実施する文化財保護事業

（県指定有形文化財 建造物）「須賀神社本殿」

《防災・保守点検・清掃管理事業》へ　　15,000 円（総事業費 25,300 円）

・木更津ばやし保存会が実施する事業

（県指定無形民俗文化財）「木更津ばやし」

《会議・伝承育成・公開事業》へ　　65,000 円（総事業費 119,000 円）

・中島区文化財保存会が実施する事業

（国記録選択　無形民俗文化財）「木更津市中島の梵天立て」

《会議・調査・保存・伝承育成事業》へ　40,000 円（総事業費 63,487 円）

２　指定文化財所有者への支援について

（１）自然災害等の被害調査（必要に応じて現地を確認）

（２）指定文化財等への説明資料配布（所有者からの請求による対応）

（国登録文化財 建造物）　ヤマニ綱島商店店舗

（市指定有形文化財 彫刻）　富士見厳島神社の社殿彫刻（今年度請求なし）

３　指定文化財等の保護・活用について

（１）木更津市指定文化財の指定について

「マミヤク遺跡出土子持勾玉」について審議を行い、令和６年９月 24 日付で木更津市指定文化財（第 37 号）に指定した。

「善場家文書（天正検地帳写及び寛永八年検地帳写）」について、木更津市指定文化財への指定に向け、本審議会で審議を行った。

（２）指定文化財管理業務委託（金鈴塚古墳・貝渕木更津県史蹟）

（３）木更津市指定文化財（第 12 号）「嶺田楓江寿碑」の文化財案内板に、多国語対応のＱＲコードを貼付した。

和文・英文表記

嶺田楓江寿碑

Monument to Mineda Fūkō

嶺田楓江は、江戸時代後期の文政元年（1818)、丹後(現在の京都府)田辺藩士の子として江戸で生まれ、儒学や蘭学を学び各地を遊学しました。天保 14 年（1843）には、蝦夷地（北海道）を踏査して、江戸幕府に屯田制や北方警備の必要性を訴えるため『海外新話』を記しました。しかしこのことで、治安を乱したとして捕らえられ、江戸から追放されました。

Mineda Fūkō was born in Edo, the son of a Tango (present-day Kyoto Prefecture) Tanabe feudal lord, in 1818, during the late Edo period. He studied Confucianism and Dutch studies and traveled around Japan.

In 1843, he surveyed Ezo (Hokkaido) and wrote Kaigai Shinwa (New Stories from Overseas) to advocate to the Edo Shogunate the importance of establishing a colonial system and northern defense. However, he was arrested and exiled from Edo for disturbing public order with this move.

後に当時の請西村に移り住み、地元子弟の教育に力を注いだことから、明治 14 年（1881）に長寿と業績を称えるために寿碑が建立されました。

He later moved to the then Jōzai village, where he devoted himself to educating local youths, and a monument was erected in 1881 to honor his longevity and achievements.

この碑は、文を重城保（初代千葉県議会議長）が撰し、題字を英国外交官閣斌士（後の英国ソウル総領事 John Harrington Gubbins と思われる）が、書を清国の劉世安が担当した三カ国合作の珍しいものです。

This monument is a rare collaboration between three nations, with an inscription written by Jūjō Tamotsu (the first chairman of the Chiba Prefectural Assembly), the title by British diplomat Gubbins, (thought to be John Harrington Gubbins, the later British Consul General in Seoul), and calligraphy by the Chinese Liu Shian.

案内看板（ＱＲコードを貼付）

（４）文化財保存処理業務委託　金属器保存処理　庚申塚 10 号墳出土銅釧ほか４点

（５）文化課保管、管理の資料閲覧・写真撮影・貸出

資料閲覧等　４件（博物館学芸員・研究者）

マミヤク遺跡 91 号住居出土鉄鏃、同１号祭祀遺構出土鉄鏃、鶴ケ岡２号墳出土鉄鏃・同２号墳出土銅鏃、宮脇遺跡３号方形周溝墓出土鉄鏃、伊豆山台遺跡 27 号住居出土縄文土器、台木Ａ遺跡７号住居出土縄文土器、同 15 号住居出土縄文土器、俵ヶ谷４号墳出土ガラス小玉、永作１号墳出土ガラス小玉、高砂遺跡 SZ022 出土銅釧

写真撮影・刊行物への掲載　３件（公立博物館・公立調査機関）

マミヤク遺跡 91 号住居出土鉄鏃、同１号祭祀遺構出土鉄鏃、鶴ケ岡２号墳出土鉄鏃、同２号墳出土銅鏃、宮脇遺跡３号方形周溝墓出土鉄鏃、伊豆山台遺跡 27 号住居出土縄文土器、台木Ａ遺跡７号住居出土縄文土器、同 15 号住居出土縄文土器、中越遺跡出土小銅鐸（石製舌）

出土遺物の貸出　２件（公立博物館）

上名主ヶ谷遺跡出土土器（県立房総風土記の丘資料館常設展示）、

大山台古墳群出土土器、同玉類（県立中央博物館常設展示）

４　千葉県金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業について

（１）小学生向け金鈴塚古墳周知用資料の配布（市内小学校の対象児童約 1,300 部）

イラスト・パンフレット（教えてきさポン！ 金鈴塚のひみつ）

普及用パンフレット（金鈴塚古墳 金のすず見つけた-古墳に副葬された宝物）

普及用パンフレット用クリアファイル

周知資料の使用状況についてのアンケート結果

３年生担任

・校外学習の前に学習したので興味をもって学習に取り組むことができた。金鈴塚古墳について、３年生にも分かりやすく漫画で説明されたていたのがよかった。１月の校外学習で、本物を見学する楽しみにもつながった。

・校外学習の事前準備で使い、イメージを持って学習できた。

・イラストがわかりやすくてよかった。子供たちは古墳から金の鈴が出土していることが、最も印象深かったようだが、事前にパンフレットで学習し、博物館で実物を見たからだと思う。インターネットでの検索では難しい用語があって、まとめるのに苦労するが、このような冊子があると解りやすい。市内巡りの事前学習に使用した。

６年生担任

・自分たちの住んでいる木更津にも古墳があったと知り、興味を持つ児童が多かった。

・ファイルと一緒なので、子ども達も大事に活用していた。

・社会科の学習で古墳を学んだ後、木更津にも古墳があるということをこのパンフレットで学ぶことができた。

・子どもたちにとってわかりやすく詳しい資料と思う。指導の際、とても助かった。

・タブレットと、紙ベースの両方を活用した。紙は印を付けたり、読み直したりすることができてよかった。

・身近なところにも古墳があることを知ることができてよかった。

・古墳時代の学習の中で、身近な地域にも古墳はあることが分かりやすく解説されていた。貴重な埋蔵物の存在や、大和朝廷とのつながりについて具体例を示しながら、学習を進めることができた。

・身近に古墳があると、歴史の学習で取りあげることができると思う。

５　埋蔵文化財の発掘調査について

（１）発掘調査（２月末時点で１１件の調査を実施）

No.	遺 跡 名	所在地	調査種別	調査面積	調査要因	遺 構
1	松山遺跡	高砂	確認調査	4.7 ㎡/318.53 ㎡	道路整備	なし
2	本郷一丁目遺跡	本郷	確認調査	24 ㎡/862.04 ㎡	個人住宅建設	なし
3	田向遺跡	江川	確認調査	5 ㎡/95.5 ㎡	個人住宅建設	なし
4	南長須賀古墳群	長須賀	確認調査	1.2 ㎡/262 ㎡	個人住宅建設	なし
5	熊野廻遺跡	長須賀	確認調査	22 ㎡/258.91 ㎡	個人住宅建設	なし
6	熊野廻遺跡	長須賀	確認調査	8.5 ㎡/258.95 ㎡	個人住宅建設	なし
7	本郷B遺跡	請西	確認調査	5/272.67 ㎡	個人住宅建設	なし
8	鶴ヶ岡遺跡	桜井	本調査	4,000 ㎡	市道整備	竪穴住居 35(弥生後期3･古墳前期2･後期26･奈良時代4)
9	代畑遺跡	大稲旧 大久保	確認調査	18 ㎡/541.22 ㎡	個人住宅建設	なし
10	南久保宿遺跡	真里谷	確認調査	6.5 ㎡/819.58 ㎡	個人住宅建設	なし
11	内屋敷遺跡	真里谷	確認調査	2.5 ㎡/609.27 ㎡	個人住宅建設	なし

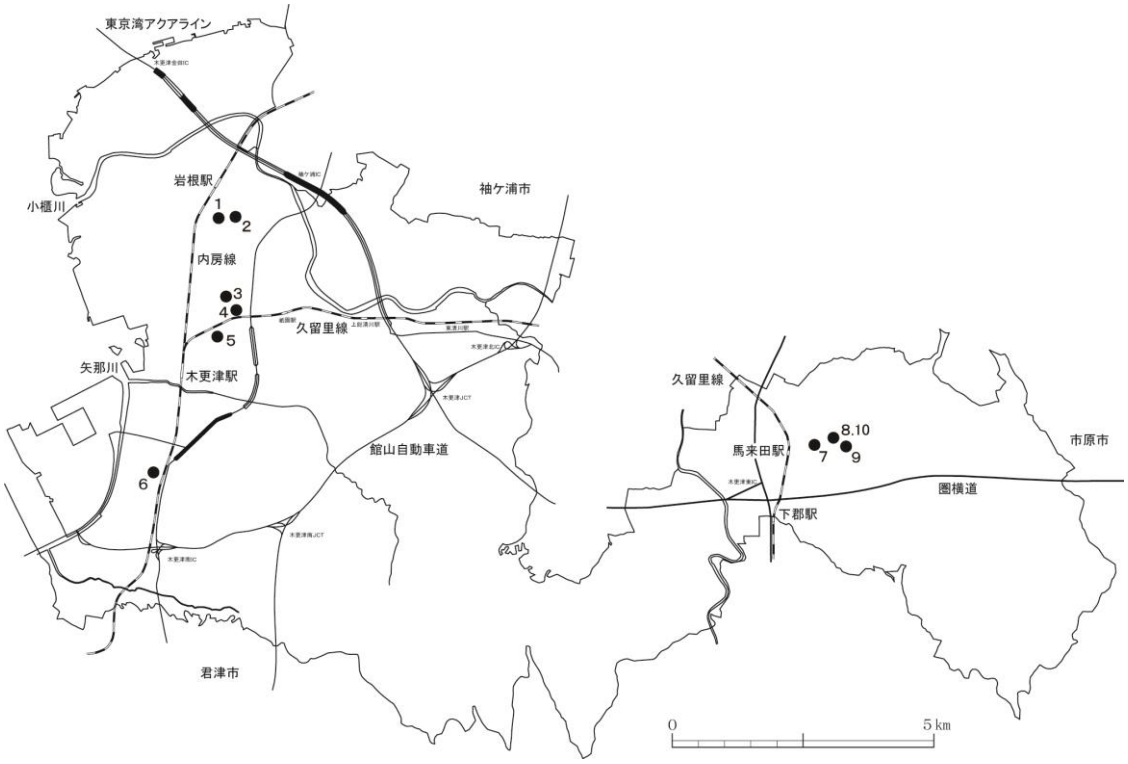
令和６年度 発掘調査遺跡一覧

（２）文化課窓口での遺跡の有無に関する照会対応件数

照会件数は、本年２月末現在 803 件（前年２月末 822 件）で、昨年より 19 件の減少となっている。

（３）公共事業、民間開発事業に伴う発掘調査（国庫補助事業を除く）

令和６年１月から 12 月までに実施した確認調査、試掘等の成果について掲載した調査報告書（『木更津市文化財調査集報 29』）を刊行した。



令和６年度 発掘調査遺跡位置図

６　土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の整理作業（国庫補助事業）について

令和５、６年度に整理作業を実施した、千束台遺跡群の塚原遺跡、塚原古墳群、真武根陣屋跡について、調査報告書（『千束台遺跡群発掘調査報告書ⅩⅡ-塚原遺跡Ⅲ・真武根陣屋跡Ⅰ-』、『千束台遺跡群発掘調査報告書ⅩⅢ-塚原古墳群-』）を刊行した。

７　市道中野畑沢線整備事業に伴う鶴ヶ岡遺跡の発掘調査、遺跡見学会の開催について

昨年 10 月より１月までの４か月、桜井に所在する鶴ヶ岡遺跡（約 2,000 ㎡）の発掘調査を実施した。これにより、昨年度調査分と合わせ、竪穴住居 70 軒（弥生後期９・古墳前期 10・後期 44・奈良時代７）が明らかになった。出土遺物は、各時代の土器が主体で、さらに、石製紡錘車、ガラス小玉などが出土した 。

こうした状況を、市民の方々に紹介するために、昨年 12 月 25 日に、一般を対象とした遺跡見学会と、小中高生向けの出前講座を同時に開催した。当日は合わせて 33 名の参加があり、担当職員の説明に聞き入り、多くの質問があった。

７年度には、両年度の調査成果をまとめた調査報告書の刊行を予定している。

遺跡の説明

出土遺物の説明

報告 第2号 宗教法人光明寺 武志伊八郎信由関連作品の千葉県登録文化財登録について

令和７年２月２６日付で、光明寺薬医門 蟇股「力士像」、同 木鼻「獅子と牡丹」（武志伊八郎信由関連作品）が千葉県登録文化財に登録された。

１　種別、名称及び員数

有形文化財（彫刻）

・光明寺薬医門 蟇股「力士像」（武志伊八郎信由関連作品）１点

・光明寺薬医門 木鼻「獅子と牡丹」（武志伊八郎信由関連作品）１対

２　所有者　宗教法人 光明寺

３　所在地　木更津市中央１－１４６０－１

４　概　要　（県教育庁教育振興部文化財課ＨＰ掲載資料-関連部分抜粋）

令和６年度千葉県登録文化財の登録について

発表日：令和７年２月２６日
教育庁教育振興部文化財課

令和７年１月１７日（金）に開催された千葉県文化財保護審議会において千葉県登録文化財に登録すべきとの答申があった下記の文化財６件について、千葉県登録文化財に登録することを決定しました。この結果、県登録文化財は有形文化財 15 件、有形民俗文化財１件、無形民俗文化財１件、記念物１件の合計 18 件となります。

新たに登録する文化財

光明寺薬医門　蟇股「力士像」（武志伊八郎信由関連作品）（こうみょうじやくいもん　かえるまた「りきしぞう」（たけしいはちろうのぶよしかんれんさくひん））

種　別

有形文化財（彫刻）

所在地

木更津市中央 1-1460-1

所有者

宗教法人光明寺

概　要

光明寺の薬医門の蟇股として取り付けられた力士の彫刻である。門上部中央に力士、その左右に木鼻の獅子・牡丹が配置される。力士像の背面に刻銘（「彫工 房刕長サ住 下打墨村 武志伊八」）が確認され、27 歳以前の初代伊八の作であることが判明している。力士の力強い躍動感が表現され、彫刻技術の成長著しい 20 代中頃の伊八の作風を示すものとして貴重である。

また、本作は伊八が拠点としていた安房地域から離れた、木更津地域での資料である。この制作を含む一連の活動により、その後の作品や評価が江戸以西を含めた広域に展開することとなったとも考えられ、その点においても一定の価値をもつ。

蟇股　力士像

光明寺薬医門　木鼻「獅子と牡丹」（武志伊八郎信由関連作品）（こうみょうじやくいもん　きばな「ししとぼたん」（たけしいはちろうのぶよしかんれんさくひん））

種　別

有形文化財（彫刻）

所在地

木更津市中央 1-1460-1

所有者

宗教法人光明寺

概　要

光明寺薬医門の左右の主柱に木鼻として取り付けられた獅子と牡丹の一対の彫刻である。刻銘等は確認されていないが、同門の中央にある力士像と作風・様式、木材の風化度合いの共通性から、初代伊八の作品群であることが想定できる。

これらのモチーフは、伊八が後年まで数多く制作している。本資料の獅子は、鴨川市金乗院山門の獅子と作風が近似し、20 代中頃の作品として位置づけられる。伊八の作風の変遷をたどる上で、また、力士像とあわせて、初代伊八の木更津地域における活動資料として価値をもつ。

左：木鼻　獅子 吽・牡丹

右：木鼻　獅子 阿・牡丹